

神戸 太郎^{1*}・大阪 次郎²

¹工学研究科応用化学専攻

²〇〇大学大学院基礎工学研究科化学工学専攻

キーワード： 研究紹介の書き方, 投稿の方法, 原稿の提出, キーワードは5個程度

1. 緒 言

神戸大学大学院工学研究科・システム情報学研究科紀要は年1回発行される和文の学術誌であり, 論文とともに, 両研究科の研究内容を学術的な観点から学内外に広く発信を行うために研究紹介を掲載する。

研究紹介の投稿に際し, 著者は研究紹介投稿申込書と原稿のPDFファイルを工学研究科研究助成係に送付する。

2. 原稿の作成

2.1 本文

2.1.1 原稿の書式

原稿は, タイトル, 著者, 所属, キーワード, 本文からなり, タイトル, 著者, 所属, キーワードは1段組, 本文は1段組あるいは2段組とする。ページ数は1~4ページ程度とする。

2.2 タイトル, 著者, 所属

タイトルはゴシック体12ポイント, 著者名はゴシック10.5ポイント, 所属はゴシック9ポイントとする。著者名の右肩に数字をふり, 所属と対応させる。学内の著者は研究科名と専攻名のみ, 学外の著者は大学名を含めて記載する。連絡著者には数字のあとに*印を付すこと。

2.3 キーワード

キーワードは5個程度とする。キーワードの文字は明朝体9ポイントとする。

2.4 本文

本文の書き方は以下の通りとする。

- ・文字は, 漢字, ひらがな, カタカナについて明朝体8ポイント, 英数字はTimes New Roman体8ポイントとする。
- ・1段組の場合, 1行の文字数は60文字程度とする。2段組の場合, 1段の文字数は28文字程度とする。(多少の増減はかまわない。)
- ・紹介する研究内容が, 学術論文誌や国際会議のProceedingsなどで既発表のものである場合, その出典を本文中で明記する。
- ・受賞の対象となった研究を紹介する場合は, その賞の

名称を記載する。

・図表は本文中の最適な位置に配置する。写真は図に含める。なお, 本紀要はオンラインジャーナルで刊行されるため, 図はカラー版を使用してもよい。以下に図表の書式の例を示す。

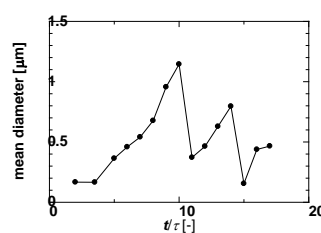


Fig. 1 Experimentally obtained mean diameter as function of nondimensional time obtained by dividing by mean residence time: rotational speed of impeller 300 rpm: mean residence time 20.0 min.

Table 1. Value of parameters

Parameter	Value
n_{total}	4000
ϕ	50-70
Δd_c	27
d_{max}	200
M	12000 - 40000
N	1 - 2

3. 投稿後の取り扱い

投稿後はエディターによるフォーマット等の確認後, 研究助成係を通じて出版社に送付し公開する。

References

- 1) Konno, M., T. Muto and S. Saito; "Coalescence of Dispersed Drops in an Agitated Tank," J. Chem. Eng. Japan, 21, 335-338 (1988)